

(様式第2号)

SDGsの達成に向けた重点的な取組み宣言書

作成日: 令和6年6月6日

事業者名: 日本イベント企画株式会社

三側面	SDGsの達成に向けた重点的な取組み	関連するSDGsゴール (最大3つ)	実績	指標・目標	
環境	・ 営業車の利用を少なくしCO2の削減に取り組むためにリモートミーティングの推奨。 ・ 社内照明器具のLED化・経営する飲食店舗におけるか紙ストローの導入。 ・ 岐阜県的美濃焼を食器に使い、プラスチック容器を極力減らす取り組み。	⑦エネルギーをみんなにそしてクリーンに、⑫つくる責任 つかう責任、⑬気候変動に具体的な対策を	・ 社内照明器具のLED化 (R5年7月で100%完了) ・ 経営する飲食店における紙ストローの導入 (4店全店舗において紙ストロー導入100%)	指標	・ 対外的な全ミーティングの内の5割をオンライン化 (R10年度)。 ・ 営業車の利用によるガソリンの使用量を削減。
				目標	・ R5.4~8にかけて顧客等にミーティングオンライン化に関する協力を呼びかけとオンライン化へのガイドラインを作成。協力いただける顧客、取引先に対し基本はオンラインとする。 ・ R5年度の年間ガソリン使用量3割のガソリンの使用量削減をR7年度までに達成する。
社会	・ 子育て中の従業員が働きやすい環境づくり (子連れ出社、休憩室兼授乳キッズルームの整備、リモートワークの導入、フレックスタイムの導入、職場参観制度)。 ・ 地元自治会への参加、イベントへの協力。 ・ 会社周辺の清掃活動。 ・ 女性の活躍推進。	⑤ジェンダー平等を実現しよう、⑧働きがいも経済成長も、⑩住み続けられるまちづくりを	・ 子連れでも気兼ねなく出社し、業務を行えるように子連れ出社用執務室、休憩室兼授乳キッズルームの整備。 ・ 岐阜県ワーク・ライフ・バランス推進エクセレント企業登録制度の認定済み。 ・ 子育てにやさしい就労環境の整備 (男性の育児参加の促進、フレックスタイムの導入、職場参観)。2024年くるみん認定。 ・ リモートワークの積極導入。	指標	・ 有給取得の促進 (全従業員取得日数7日/年 目標) ・ 地域NPOと連携した地域社会への貢献。 ・ 女性正社員比率を50%に。
				目標	・ 有給取得の促進: R8年度までに達成。 ・ イベント等で使用した備品を廃棄せず整備して地域NPOと連携して再利用を促進する (R8年までに10団体以上と連携)。 ・ R10年までに女性正社員比率を50%に。
経済	・ 地方の小規模イベントにも活用しやすいDXシステムの開発 (イベントの効率化、高付加価値化、効果分析の高度化)	⑨産業と技術革新の基盤をつくろう、⑩住み続けられるまちづくりを、⑰パートナーシップで目標を達成しよう	・ R4 コンソーシアムの補助金を活用してイベントシステムを開発。 ・ R5.3月~実装販売・R6.4月までに、開発したイベントDXシステムを運用してイベントの運営を行った (導入実績 R5.3 岐阜新聞主催企業展、R5.5 5つちのこフェスタ2023、他)。	指標	・ イベントへの導入促進
				目標	・ R7年度までに7回以上
ガバナンス	チェック	SDGsの達成に向けた重点的な取組みが従業員に共有されており、かつ達成するための仕組みが組織内に構築されている (PDCAサイクル等)。 <具体的な内容を記載>			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・ 社内SDGs推進プロジェクトを立ち上げ、毎月、社内の取り組み状況や各地の取り組みの情報共有。 ・ ホームページの公開。 ・ R5にシルバーパートナーに認定を受けた。R6年にはゴールドパートナーを目指して活動を展開。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	SDGsの達成に向けた重点的な取組みをホームページ等で対外的に公表している。 https://www.ne-planning.com/sdgs/			